

# 令和4年度 佐賀県高等学校総合体育大会（卓球競技） 実施要項

入場できるのは、卓球専門部の役員、補助員、参加校の部顧問(外部指導者を含む)、選手を含む部員並びに部員の保護者(選手登録人数以内、要保護者入場者名簿事前提出)のみです。一般客の来場はできませんので周知徹底してください。

1. 期 日 令和4年5月27日（金） 9時00分 開始式  
団体戦（決勝リーグ2回戦まで）  
令和4年5月28日（土） 9時00分 団体戦（決勝リーグ3回戦）  
個人戦（複）決勝まで  
個人戦（単）1回戦まで  
令和4年5月29日（日） 9時00分 個人戦（単）決勝まで
2. 会 場 唐津市文化体育館（唐津市和多田大土井）
3. 参加資格 令和4年度佐賀県高等学校総合体育大会開催基準要項による。
4. 参加制限 (1) 全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成チームは認めない。  
(2) 出場人員 (イ) 団体戦は、男女各1チーム（4名以上8名以内）  
(ロ) 個人戦（単）は、男女各8名以内、（複）は男女各4組以内
5. 競技規則 (1) 種 目 男女団体戦、男女個人戦（単・複）  
(2) 現行の日本卓球ルールによる。ただしタイムアウトについては、団体戦は初戦より、個人戦はベスト8決定より採用する。  
(3) 使用球 (公財)日本卓球協会公認プラスチック球（40mm ホワイト）とする。  
(4) 服装規定 本大会に出場する選手は下記に該当する服装を着用すること。  
(イ) 団体戦ベンチに入る選手は同一ユニフォーム（靴・靴下を除く）とする。個人戦（複）のペアも同一ユニフォームとする。  
(ロ) ゼッケンは、(公財)日本卓球協会指定のものに限る。  
(5) 団体戦は4単1複（単・単・複・単・単の順）とする。ただし、3番の複（ダブルス）は1番、2番の単（シングルス）に出場した選手同士で組むことはできない。進行状況により2台進行とすることがある。  
(6) 各団体戦における外国籍選手の出場は、1回のみとする。  
(7) アドバイザー（ベンチコーチ）  
(イ) 個人戦でのアドバイザーのベンチ入りは、以下の条件で認める。  
・大会申込時にエントリーされた当該校の監督、選手に限る。  
・選手は、自コートのアドバイザー以外にアドバイスを求めることはできない。  
(ロ) 団体戦でのアドバイスは、規定時間内でベンチの監督1名、および選手のみとする。  
(8) その他の規則は、令和4年度全国高等学校総合体育大会実施要項に準ずる。
6. 試合方法 (1) 全種目11本5ゲームスマッチとする。  
(2) 団体戦、個人戦ともにトーナメント法とする。ただし、団体戦ではベスト4によるリーグ戦を、個人戦（単）では5位決定トーナメントを行う。

〈次ページへ〉

7. 申し込み
- (1) 佐賀県高体連ホームページより参加申込書ならびに(様式 3)保護者入場者名簿をダウンロードし、必要事項を入力後、校長印、監督印を押印したものを佐賀県高体連事務局へ提出すること。
  - (2) 上記の参加申込書データ（エクセルデータ）を、各校内での申込締切と同時に下記アドレスへメールで送信して下さい。（佐賀農業高校 立石賢也 宛て）

tateishi-kenya@education.saga.jp
----------------------------------

8. 組合せ
- (1) 団体戦・個人戦とも前年度の新人大会等の成績を参考にしてシードする。
  - (2) 団体戦・個人戦とも専門委員会で、抽選により決定する。
9. 選手変更
- (1) 団体戦の選手変更は、卓球競技出場（選手・役員）変更届に記入・押印の上、大会初日開始式前までに審判長へ届け出ること。
  - (2) 個人戦（単・複）においては、参加申込み後の変更はできない。出場不能の場合は棄権とみなす。
10. 備考
- (1) 本大会は全国高校総体・全九州高校体育大会の予選を兼ねる。
  - (2) (1)の大会の県代表数は下表のとおりである。

	学校対抗		ダブルス		シングルス	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全国高校総体	1	1	2	2	4	4
全九州高校体育大会	2	2	4	4	5	5

11. その他
- (1) 入館は8：00からとなっています。早すぎる来場はご遠慮下さい。
  - (2) 体育館フロアと外では、必ずシューズの履き替えをすること。
  - (3) 会場での弁当がらやゴミは各自で持ち帰ること。
  - (4) 審判について
    - (イ) 今大会では、審判員（社会人・高校職員）は用いません。
    - (ロ) 団体戦での主審は決勝リーグまでの全試合、お互いの学校から出してください。なお、決勝リーグの副審には補助員が入ります。
    - (ハ) 個人戦（単・複）については全試合、相互審判および敗者審判とします。
  - (5) 次ページにあげる「卓球競技における感染症対策」を遵守のこと。

〈次ページへ〉

## 「卓球競技における感染症対策」

### 【会場への入場について】

#### 1. 入場を認められる者

- ・卓球専門部の役員、補助員、参加校の部顧問（外部指導者を含む）、選手を含む部員など。  
なお、高校職員は勤務校で使用している名札を、外部指導者は令和4年度（公財）日本卓球協会発行の役職者章（ワッペン）をつけること。
- ・卓球専門部から入場を許可された者（保護者、報道関係者、写真業者など）。なお、名札または腕章等を必ずお付けください。
- ・保護者においては、卓球専門部発行の「入場許可証」を着用すること。

#### 2. 入場を認められない者

- ・参加校の一般職員、一般生徒、一般の観客。
- ・1に該当するものであっても、以下の事項に該当する者は会場への入場を認められない。
  - （1）保護者同意書(様式1)を学校長へ提出していない選手。
  - （2）体調チェック表(様式2)を部顧問に提出していないもの。
  - （3）体調チェック表(様式2)で、いずれかの項目に×がついているもの。
- ・上記様式については県高体連HPよりダウンロードしてください。

### 【感染防止に関すること】

1. 上記での入場を認められる者は、大会期間中の3日間ともそれぞれ、来場時に当日分を記入した体調チェック票（様式2）を部顧問に提出すること。37.5℃以上の者は入場不可。
2. 会場（移動時を含む）では、各自必ずマスクを着用すること（競技中の選手を除く）。観客席からの応援（ベンチからの応援）もマスク着用し、拍手のみの応援とすること。
3. こまめな手洗いとともに、会場内および各卓球台に設置しているアルコール消毒液による手指消毒を行うこと。
4. 体育館の2階出入り口は閉鎖します。
5. 会場内の換気を徹底するため、2方向以上の窓を同時に開放します。
6. 人が多く集まる場所（1階ロビー、2階観客席など）では、密にならないよう注意すること。
7. 各自のゴミ（特に唾液等がついたものはビニール等に入れて）は、各自で持ち帰ること。  
（会場内のゴミ箱は使用禁止）
8. 試合前のラケット交換（ラバーチェック）は、お互いが見せ合うだけとする。（対戦相手にラケットを渡さない）
9. 試合中のチェンジコートは行う。
10. 手汗を卓球台で拭かないこと。また、シューズの裏を手でぬぐわないこと。
11. 対戦相手を含め、握手、ハイタッチ、肩を組むなどの身体的接触を避けること。
12. 近距離での会話や発声は極力避けること。
13. 原則として所属校の競技終了後、速やかに帰宅すること。
14. 上記以外についても「佐賀県高等学校体育大会における新型コロナウイルス感染症対策」での確認をお願いします。